

《担当者名》下山 美由紀 m_shimoyama@hoku-iryō-u.ac.jp

【概要】

介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解する授業である。対象者の生活を支援するという観点から、人間の心理、人体の構造や機能を理解し、身体的・心理的・社会的側面を統合的に捉えるための知識を身につける。介護を必要とする人々の増加や介護ニーズの多様化に応えられるよう専門的知識を基盤に、利用者の生活を支える介護実践との関係を学んでいく。

【学修目標】

1. 介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解し、説明することができる。
2. 介護サービスを必要とする利用者やその介護に携わる家族などにも「わかる」よう、自分なりに工夫した介護の根拠について説明ができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	この科目の概要とスケジュール等を説明する。「健康」とは何かについて考え、自分のことばで伝えることができる。	下山
2	こころとからだのしくみ	人間の欲求について理解し、説明することができる。こころのしくみの基礎について理解し、説明することができる。	下山
3	からだのしくみ	人間のからだの解剖や生理的機能を理解し、説明することができる。	下山
4	からだのしくみ	人間のからだの解剖や生理的機能、からだの動きのメカニズムを理解し、説明することができる。	下山
5	移動に関連したこころとからだのしくみ	移動に関連したこころとからだの基礎知識、心身の機能低下・障害が及ぼす影響と対応について理解し、説明することができる。	下山
6	身じたくに関連したこころとからだのしくみ	身じたくに関連したこころとからだのしくみの基礎知識を理解し、説明することができる。	下山
7	身じたくに関連したこころとからだのしくみ	心身の機能低下・障害が身じたくに及ぼす影響と対応について理解し、説明することができる。	下山
8	食事に関連したこころとからだのしくみ	食事に関連したこころとからだのしくみの基礎知識を学ぶとともに、心身の機能低下が及ぼす食事への影響と対応について理解し、説明することができる。	下山
9	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみの基礎知識を学ぶとともに、心身の機能低下が及ぼす入浴、清潔保持への影響の理解と変化の把握方法を理解し、説明することができる。	下山
10	排泄に関連したこころとからだのしくみ	排泄に関連したこころとからだのしくみの基礎知識を理解し、説明することができる。	下山
11	排泄に関連したこころとからだのしくみ	心身の機能低下が及ぼす排泄への影響と対応について理解し説明することができる。	下山
12	睡眠に関連したこころとからだのしくみ	睡眠に関連したこころとからだのしくみの基礎知識を理解し、説明することができる。	下山
13	睡眠に関連したこころとからだのしくみ	心身の機能低下が及ぼす睡眠への影響と対応について理解し、説明することができる。	下山
14	死にゆく人のこころとからだのしくみ	「死」のとらえ方について理解することができる。終末期から危篤、死亡時のからだの状態を理解し、説明することができる。「死にゆく人」のこころを理解する。（死の受容）医療職との連携について理解し、説明することができ	下山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		る。	
15	死にゆく人のこころとからだのしくみ	課題テーマのレポートを作成する。	下山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験：80% レポート：20%

【教科書】

最新介護福祉士養成講座11「こころとからだのしくみ」第2版（2022）中央法規

【参考書】

授業時に必要な最新の情報などをレジュメとして作成し、配布する。

【備考】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「こころとからだのしくみ」に該当する。また、教職課程（福祉）では、教科に関する科目「人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解」に該当する。

【学修の準備】

指定した教科書の「こころとからだのしくみ」を事前に目を通しておくこと（30分）。
毎回の講義資料を参考に、その内容について読み返し復習を行うこと（60分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2、1、4

【実務経験】

看護師

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、心身の機能低下が及ぼす影響や具体的な実践について講義する。